

株主優待のご案内

1,000株以上ご所有の株主の皆さまに株主優待品を贈呈いたしております。

ポイント1.....

年2回の贈呈

12月末現在の株主の皆さま
▶ 3月頃送付
6月末現在の株主の皆さま
▶ 9月頃送付

ポイント2.....

当社米穀製品を
お届けします。



6月末現在の株主さま	1,000株以上2,000株未満	2,000円相当の米穀製品
	2,000株以上	4,000円相当の米穀製品等※
12月末現在の株主さま	1,000株以上	3,000円相当の米穀製品

※うち2,000円相当は「切り餅」を12月中頃までに贈呈いたします。

第64期 株主通信

平成23年1月1日 ▶ 平成23年12月31日

トップインタビュー

統合シナジー効果と効率化を追求

木徳神糧株式会社

JASDAQ

証券コード：2700

おコメを使った 春の食物繊維たっぷりごはん

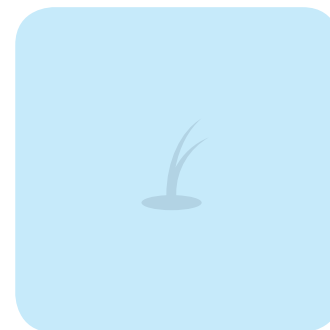
からだにうれしいヘルシーメニュー。季節の食材でアレンジも楽しめます。

■ 調理時間60分 ■ カロリー：397kcal/1人分

材料 2人分

米…………… 1合
発芽玄米…………… 20g
ひじき(乾燥)…………… 10g
にんじん…………… 20g
しいたけ…………… 1枚
こんにゃく…………… 30g
油揚げ…………… 1/2枚
れんこん…………… 30g
いんげん…………… 30g
ちりめんじゃこ…………… 10g
サラダ油…………… 大さじ1/2
だし汁…………… 1/2カップ
酒…………… 大さじ1
しょうゆ…………… 小さじ2
砂糖…………… 小さじ2

- 米はとぎ、発芽玄米はさっと洗って混ぜ、普通に炊く。
- ひじきはたっぷりの水に約20分つけて戻し、さっと洗って水気をきる。
- しいたけは石づきをとり、こんにゃくは水(分量外)からゆでてあく抜きし、油揚げは熱湯をかけて油抜きする。にんじん、しいたけ、こんにゃく、油揚げは5mm角に、れんこんはいちょう切りにして水にさらし、いんげんは5mm幅に切っておく。
- 鍋にサラダ油を熱してちりめんじゃこを炒める。香りが出てきたらひじき、②で切った野菜などを加えてさらに炒める。
- 全体に油がまわったらだし汁、酒、しょうゆ、砂糖を加え、弱火で10分煮含める。汁が残っているようなら少し火を強めて煮詰める。
- 炊き上がったご飯に⑤の具を加えて混ぜる。





代表取締役社長 平山 惇

グループとしての結束を固め、 統合シナジー効果と効率化を追求してまいります。

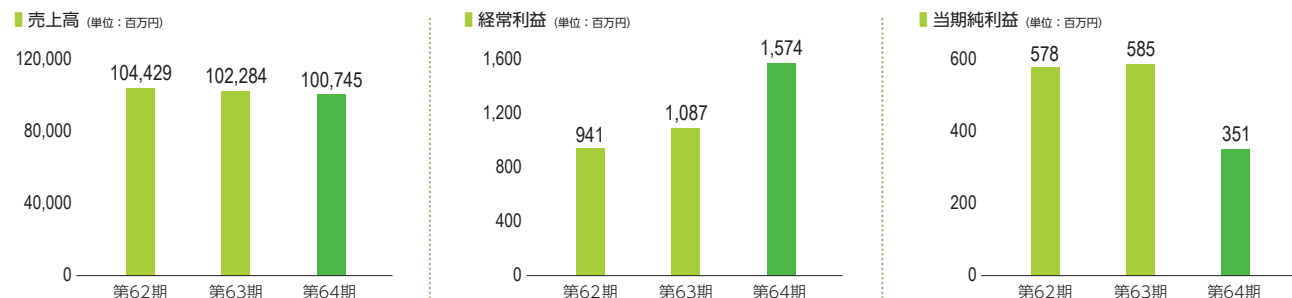
Q 前期(平成23年12月期)の営業状況と成果についてお聞かせください。

A 震災被害を受け東北支店・仙台工場が全壊。社員一同が一丸となって対処した結果、黒字を維持しました。

当社にとって最も大きな出来事は、東日本大震災による東北支店・仙台工場の被災です。同拠点は津波を受けて全壊し、生産機能を喪失しましたが、当社は桶川工場・本牧工場へのシフトおよびJA系精米工場への委託によりこれをカバーし、東北地方のお客様に対する米の供給を維持することができました。

連結業績は、売上高がほぼ計画通りに推移し、仕入政策の奏功や販売促進の見直しによる利益率改善の結果、営業利益および経常利益は上場来の最高益となりました。また、震災被害により約12億円という多額の特別損失を計上しながらも、黒字を維持しました。これは、社員一同が震災をバネに一丸となり対処した成果であると思います。

業績の推移(連結) [Consolidated Business Results]



米穀事業の状況としては、平成22年産米の取引価格が震災後に大幅な上昇を示し、平成23年産米も高値で推移しています。一方、販売単価は消費減退の影響を受けて低下し、売上高が減少しましたが、前述の通り仕入政策の奏功や販売促進の見直しにより、増益となりました。

食品事業は、機能性食品の販売が好調でしたが、鶏肉と惣菜販売の採算が悪化し、大幅減益となりました。

鶏卵事業は、相場の低迷と販売数量の減少により減収となりましたが、利益は微減にとどまりました。

飼料事業は、取引先の細かな要求に対応し、精米工程から出る糟糠類についても放射性物質の検出を厳格にチェックするなど安全性・信頼性の確保に努めた結果、売上・利益ともに計画以上の実績を上げました。

Q 昨年後半からの新たな動きについてご説明願います。

A 経営効率向上と事業シナジー創出に向けて、子会社を吸収合併。高付加価値商品の展開も進んでいます。

当社は、米穀事業を展開する国内子会社3社を本年1月1日付で吸収合併しました。目的は、財務面などの統合による経営効率の向上と、仕入の一本化によるスケールメリットの確保など事業シナジーの創出にあります。

また、食品事業を展開する内外食品株式会社の子会社についても同社が吸収合併しており、国内のグループ企業は、当社を含めた3社に集約されました。今後はグループとしての結束を固め、営業マンが各商材へのトータルな対応を行う体制で、総合力を発揮していきます。

一方、高付加価値商品の新たな動きについては、昨年11月に低たんぱく米の新商品「越後ごはんカルローズ」を発売しました。腎不全の患者さんなど、低たんぱく米を必要とする方々にお求めやすい価格で提供するために、

Pick Up!

グループの国内再編

①米穀事業の国内子会社

木徳九州株式会社、備前食糧株式会社、木徳東海株式会社の3社を木徳神糧株式会社に吸収合併。

②食品事業の国内子会社

有限会社茨城内外食品、有限会社共栄ファーム、株式会社ジーシーフーズの3社を内外食品株式会社に吸収合併。



輸入米の**カルローズ**(→P.3)を使用した商品です。当社は、こうした低たんぱく米商品を第三国で生産し、中国など海外市場でも販売したいと考えており、今期から来期にかけて具体化していきます。

また、食品事業の子会社とのコラボレーションによる高付加価値商品についても新たに展開すべく、現在工場の設置を進めています。

Q 今期(平成24年12月期)の見通しはいかがですか？

A 米穀事業の利益率低下が予想される中、グループ統合による効率化とシナジーを追求していきます。

現在、平成23年産米の仕入価格が高値で推移していることから、今期は米穀事業における利益率の低下が予想されます。そのため、今期の連結業績については増収ながら減益を見込んでいますが、震災被害による特別損失の計上がなくなり、最終利益では増益となる見通しです。

経営上の重点課題としては、子会社の吸収合併によるグループ統合化の初年度として、効率化の促進とシナジー効果の追求に取り組んでいきます。また、今年3月には旧木徳九州株式会社的那の津工場(福岡県)を閉鎖し、一般精米と**無洗米**(→P.3)で分かれていた生産拠点の一体化を図るなど、さらなる統合についても進めていきます。

Q 株主の皆様へのメッセージをお願いします。
A おかげさまで創業130周年。事業発展のバトンを新しい世代に受け継ぎ、再出発を図ってまいります。

原発事故の発生以来、米に対する放射性物質の影響が大きな不安となっています。当社は、「食の安心・安全」の確保を消費者の皆様にお約束する最低限の義務と考え、原料段階と精米工程におけるチェック、そして製品に対するチェックにより、放射能汚染の懸念を徹底排除しています。また、米に限らず全ての取り扱い食品について同様の厳格な姿勢を貫いていますので、皆様には安心して召し上がっていただきたく存じます。

おかげさまで当社は、今年1月に創業130周年を迎えることができました。これまでのご愛顧に深く感謝しつつ、創業家から多くのOBを通じて託された事業発展のバトンを新しい世代に受け継ぎ、次の150周年に向けて再出発を図ってまいります。また、期末配当に創業130周年記念配当2円を加えて合計1株当たり5円とし、年間8円の配当を実施しました。

株主の皆様におかれましては、引き続き一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

用語解説

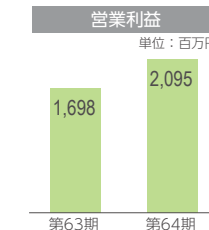
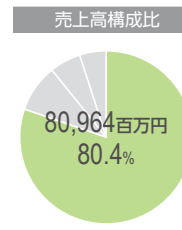
カルローズ

- 米国・カリフォルニア州発祥の中粒種米。穀粒の長さはタイ米などの長粒種と日本米(短粒種)の中間。短粒種に比べると水分値が低く、軽い食感が特徴。

無洗米

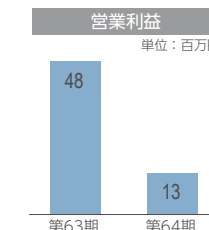
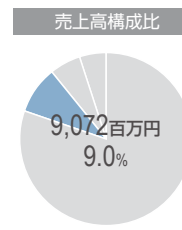
- 研ぎ洗い不要で、水を加えて炊くだけで食べられるように、あらかじめ糠を除く加工をした米。糠を含む研ぎ汁が出ないため、環境負荷が少ないとされる。

米穀事業



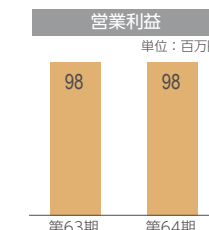
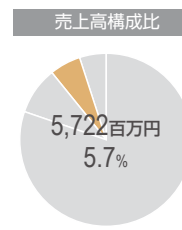
ミニマム・アクセス米の取扱数量の拡大や玄米販売の増加により販売数量は大幅に増加しましたが、平成22年産米が当初安値でスタートしたことが販売単価の低下を招き、売上高は前年同期比2,337百万円の減収となりました。一方、販売促進の見直しにより利益率が改善されたことから、営業利益は前年同期比397百万円の増益となりました。

食品事業



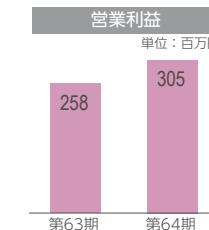
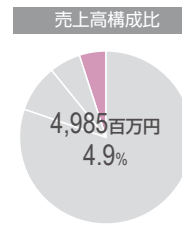
米粉需要の拡大、低たんぱく米等機能性食品の販売好調により、売上高は前年同期比444百万円の増収となりました。しかしながら、消費の低迷が続くなか、原材料やエネルギー価格の高騰により、鶏肉及び惣菜販売の採算が大幅に悪化したため、営業利益は前年同期比35百万円の減益となりました。

鶏卵事業



東日本大震災後の国内供給体制に対する懸念から鶏卵加工品等の輸入が急増したため、鶏卵相場は前年同期を下回る水準まで低迷したこと、加えて販売数量も減少したため、売上高は前年同期比387百万円の減収となりました。一方、値引き販売の抑制やコスト削減等の施策が功を奏し、営業利益は前年同期比0.7%微減の0.6百万円の減益となりました。

飼料事業



飼料相場が概ね堅調に推移しているなか、販売数量を大幅に増やしたこと、的確に取引先のニーズを捉えて積極的な商品提案を実施したことが功を奏し、売上高は前年同期比740百万円の増収となりました。また、販売数量の増加による利益の拡大を図った結果、営業利益は前年同期比47百万円の増益となりました。

木徳神糧は、1882年の木村徳兵衛商店開業以来コメとともにあゆみ続け、日本の食生活を支えるリーディングカンパニーとして2012年1月に創業130周年を迎えました。このページでは木徳神糧をより身近に感じていただけるよう、これまでの130年のあゆみをご紹介します。

創業期 (明治)



1882年：木村徳兵衛が「木村徳兵衛商店」を開業
→木徳神糧の創業

1898年：「掛けつなぎ鞘取り」の商売方針を樹立
→「投機的な取引はしない」という現在の経営姿勢に



深川区佐賀町店舗

興隆期 (大正)

1918年：大阪出張所を開設
→1925年には神戸出張所を開設



神戸出張所

1919年：肥料・雑穀・飼料の取り扱い開始
→コメ以外に事業拡大

1920年：(株)木村徳兵衛商店を組織
→株式会社化

復興期 (昭和)



銀座事務所

1929年：日本配合飼料(株)を設立
→三井物産(株)、飯野栄吉商店と共同設立

1930年：木徳精米所を開設
→精米小売を開始



木徳精米所

1932年：木徳製粉(株)を設立
→製粉業に進出

1950年：(株)木村徳兵衛商店再発足し銀座へ移転
→「銀座木徳」の呼称が定着

発展期 (平成～)

1982年：創業100周年

1991年：アンジメックス・キトク(有)を設立(ベトナム)
→海外事業の本格展開



アンジメックス・キトク(有) 本社

1993年：無洗米「楽しきわが家」発売
→高まる無洗米需要の機会を捉える



1995年：SBSによる米穀輸入取扱資格を取得
→輸入米の取り扱い開始

1996年：キトク・アメリカ会社を設立(米国)

1998年：ミニマム・アクセス(MA)米参加資格を取得
→輸入米取り扱いの更なる強化

2000年：木徳神糧(株)に社名変更
→神糧物産(株)との合併による規模・商圏拡大

2001年：ジャスダック市場に上場

2008年：キトク・タイランドを設立(タイ国)
→2010年にタイ国政府より「タイランド・ベスト・フレンド賞」受賞

記念式典の様子
(左：平山社長 右：アピシット首相(当時))



2010年：こめ油「こめしぼり」が「フードアクション・ニッポンアワード2010」のプロダクト部門で入賞
→付加価値商品戦略の成果



2011年：
2月 木徳(大連)貿易有限公司を設立(中国)
3月 東北支店(仙台工場)が東日本大震災被災
5月 東北支店営業活動再開
→支店を移転し、同工場での早期復旧を目指した
12月 こめの飲料「ライスミルク」が「フードアクション・ニッポン・アワード2011」のプロダクト部門優秀賞を受賞
→2010年こめ油「こめしぼり」の入賞に続き2年連続での受賞



記念式典の様子

2012年：創業130周年

2012年：備前食糧(株)、木徳九州(株)、木徳東海(株)を吸収合併
→グループ内経営資源やノウハウ融合によるシナジー最大化

ホームページでも連載しています!!
当社ホームページでは、スペシャルコンテンツとして当社130年のあゆみにつきまして連載しております。併せてご覧ください。
<http://www.kitoku-shinryo.co.jp/html/forum/special.html>

連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

	当 期 平成23年12月31日	前 期 平成22年12月31日
資産の部		
流動資産	19,724	17,495
固定資産	7,299	8,228
有形固定資産	5,627	6,603
無形固定資産	74	87
投資その他の資産	1,597	1,538
資産合計	27,024	25,724
負債の部		
流動負債	18,128	16,981
固定負債	2,888	2,990
負債合計	21,017	19,971
純資産の部		
株主資本	5,705	5,414
資本金	529	529
資本剰余金	331	331
利益剰余金	4,864	4,572
自己株式	△20	△19
その他の包括利益累計額	△119	△101
少数株主持分	420	440
純資産合計	6,006	5,752
負債純資産合計	27,024	25,724

連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

	当 期 自平成23年1月1日 至平成23年12月31日	前 期 自平成22年1月1日 至平成22年12月31日
売上高	100,745	102,284
売上原価	93,276	95,344
売上総利益	7,468	6,939
販売費及び一般管理費	5,899	5,712
営業利益	1,568	1,226
営業外収益	218	166
営業外費用	212	306
経常利益	1,574	1,087
特別利益	443	37
特別損失	1,224	136
税金等調整前当期純利益	793	988
法人税、住民税及び事業税	495	413
法人税等調整額	△51	△24
少数株主損益調整前当期純利益	350	—
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△1	14
当期純利益	351	585

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

	当 期 自平成23年1月1日 至平成23年12月31日	前 期 自平成22年1月1日 至平成22年12月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,461	3,580
投資活動によるキャッシュ・フロー	△348	△246
財務活動によるキャッシュ・フロー	△26	△3,464
現金及び現金同等物に係る換算差額	△12	△3
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,073	△133
現金及び現金同等物の期首残高	1,901	2,035
現金及び現金同等物の期末残高	2,974	1,901

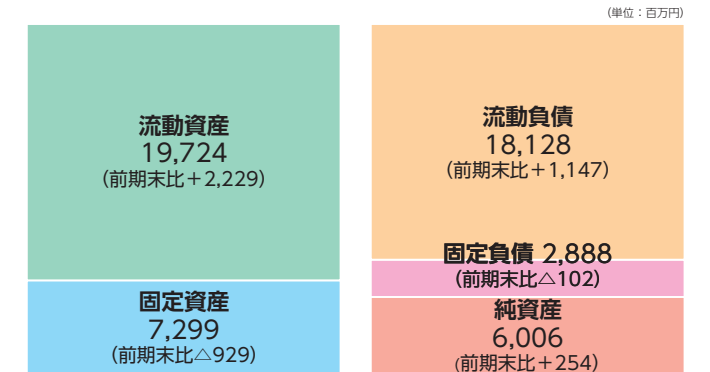
▶ 連結貸借対照表のポイント

流動資産：たな卸資産の増加2,294百万円、売掛金の増加960百万円、現金及び預金の増加1,058百万円、前渡金の減少2,299百万円等

固定資産：固定資産除却損369百万円、減損損失265百万円、減価償却費443百万円等

流動負債：支払手形及び買掛金が前期末比1,106百万円増加等

固定負債：社債の減少272百万円、長期借入金の増加174百万円等

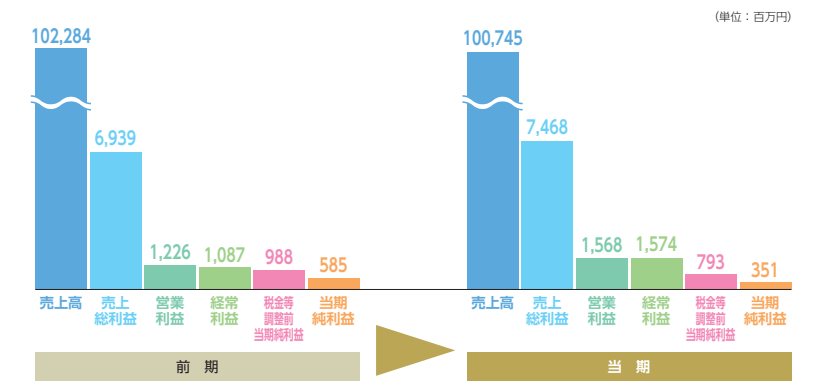


▶ 連結損益計算書のポイント

売上高：販売数量を大幅に増やしたものの、販売単価の低下により前年同期比1,539百万円減少

営業利益：仕入政策の効果や販売促進の見直しによる利益率の改善等により前年同期比341百万円増加

当期純利益：震災被害等により特別損失1,224百万円を計上

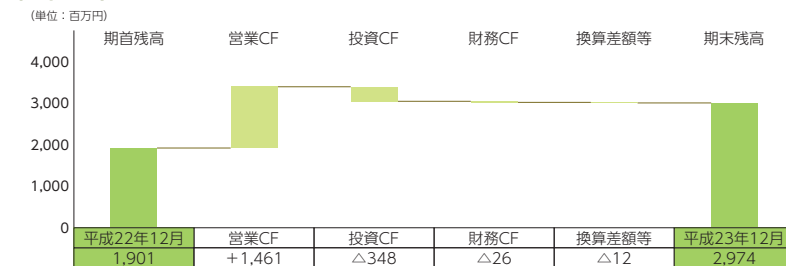


▶ 連結キャッシュ・フロー計算書のポイント

営業活動によるCF：税金等調整前当期純利益793百万円、減価償却費443百万円、災害保険金の受取249百万円等

投資活動によるCF：投資有価証券の取得による支出161百万円、貸付けによる支出156百万円等

財務活動によるCF：短期借入金の増加293百万円、長期借入金の増加256百万円、社債の減少501百万円等



お勧め商品のご案内

当社では、「安全と健康」、そして「おいしさ」をキーワードに、新しいコメの食べ方や、コメの持つ新しい機能を開発しています。

米粉パンミックス

我が家がベーカリーに早変わり

国産米粉を使用し、たんぱく質を調整しました。たんぱく質を抑えても、おいしいふっくらパンがご家庭のホームベーカリーで簡単に出来上がります。ふっくらもちり美味しいパンをお楽しみください。



米粉パンの基本レシピ

米粉パンコース使用

用意する材料(1斤分)

- 米粉パンミックス …… 200g (1袋)
- 食塩 …… 2g
- 上白糖 …… 10g
- サラダ油 …… 18g
- ドライイースト …… 3g
- 水(23℃程度) …… 190ml

完成品



栄養成分	100gあたり	栄養計算の目安 食パンにした場合の100gあたり
エネルギー kcal	366	269
たんぱく質 g	0.8	0.8
脂質 g	3.0	6.5
炭水化物 g	83.9	51.7
ナトリウム mg	13.9	272
カリウム mg	25.7	31.5
リン mg	55.4	40.0
食塩相当量 g	0.04	0.69

※左記レシピで出来上がったパンは約330gです。

工程

全ての材料をパンケースに投入をします。

箸でよくかき混ぜます。

下記のように液状になったらホームベーカリーの「米粉小麦粉なし」コースでスタートします。

焼き上がったらベーカリーから取り出し冷ましてください。



(注意点)

- 本品は「米粉グルテンなし」のパンを作る機能を有したホームベーカリーを基準に作っています。
- 使用する水は23℃前後の水道水をお勧めします。
- 後添加する油はサラダ油をお勧めします。

本品の原材料に含まれているアレルギー物質
小麦、乳成分、大豆

越後ごはんカルローズ

カリフォルニア生まれのプレミアムライス「カルローズ」が登場

カリフォルニア産の「カルローズ」は、パスタのアルデンテのような口当たりで冷やしても美味しく、さらにたんぱく質を1/12.5に成分調整しているのヘルシーメニューとしても注目されています。

日本のお米にはない軽い食感と多彩に広がるバリエーションによって、色々なレシピを新鮮なおいしさでお楽しみいただけます。



●ライスサラダ
冷えても美味しいからお米がサラダの素材に。

●チャーハン
パラッとした仕上がりで美味しさがアップします。

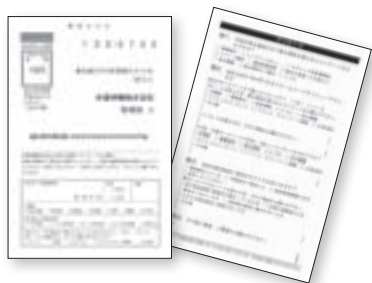
●リゾット
カルローズのアルデンテ感覚が満喫できます。

●カレー
いつものカレーもスープカレーもさらに美味しく。

ジャンバラヤ、ピラフ・バターライス、その他サイドメニューにもお使いいただけます。

株主アンケートにご協力下さい

今後の活動に反映させていただくため、アンケートを実施いたします。同封のアンケートハガキにご記入の上、最寄のポストへご投函下さい。何卒ご協力をお願い申し上げます。



会社概要 ● Corporate Data

■会社概要(平成23年12月31日現在)

商号 木徳神糧株式会社

事業内容 米穀事業、飼料事業、海外事業、コメ加工食品事業

本店所在地 〒104-0061 東京都中央区銀座7-2-22
同和ビル2階

本社所在地 〒132-0015 東京都江戸川区西瑞江2-14-6 NFビル
TEL : 03-5636-1501(代表)
FAX : 03-5636-1601

資本金 5億2,950万円

従業員数 169名(臨時雇用者106名を除く)

■役員(平成24年3月27日現在)

取締役・監査役

取締役	監査役	執行役員
取締役会長 木村 良		常務執行役員 稲垣 英樹
代表取締役社長 平山 惇		常務執行役員 鎌田 慶彦
取締役常務執行役員 三澤 正博		常務執行役員 竹内 伸夫
取締役常務執行役員 水野 正夫		執行役員 竹田 光男
取締役常務執行役員 伊豫田直記		執行役員 佐藤 善雄
取締役執行役員 天川 誠		執行役員 石田 俊幸
取締役 小森 浩資		執行役員 大橋 正博
常勤監査役 高橋 健治		
監査役(社外) 松下 守		
監査役(社外) 杉野 翔子		

株式情報(平成23年12月31日現在) ● Stock Information

■株式の状況

- | | |
|--------------|-------------|
| (1) 発行可能株式総数 | 30,000,000株 |
| (2) 発行済株式の総数 | 8,530,000株 |
| (3) 株主総数 | 1,536名 |
| (4) 大株主 | |

株主名	所有株式数	持株比率
木村謙三	405千株	4.77%
木村 良	346	4.08
濱田精泰株式会社	320	3.77
株式会社三菱東京UFJ銀行	300	3.53
黒田康敬	255	3.00
株式会社神明	247	2.91
木村友二郎	243	2.86
稲垣辰彌	230	2.71
水野正夫	222	2.61
木徳神糧従業員持株会	200	2.36

(注) 1. 所有株式数は、千株未満を切り捨てて表示しております。
2. 持株比率は、自己株式(52,937株)を控除して計算し、小数点第3位を切り捨てて表示しております。

株主メモ ● Shareholders Memo

事業年度	1月1日から12月31日まで
定時株主総会	毎年3月に開催いたします。
基準日	定時株主総会については12月31日、その他必要があるときはあらかじめ公告する一定の日
配当金受領株主確定日	12月31日及び中間配当金の支払を行うときは6月30日
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-711 (通話料無料)
上場証券取引所	株式会社大阪証券取引所
公告方法	日本経済新聞